

第四節 道前道後平野農業水利事業

「佐古ダム」

事業主体 農林水産省中国四国農政局
位置 重信町下林地先
河川 一級河川 重信川水系佐川川
ダム形式 重力式コンクリートダム
堤高 三一・〇メートル
堤頂長 二二・〇メートル
有効貯水量 一〇二万立方メートル

(旧佐古池容量三〇万九、〇〇〇立方メートルを含む)

利用貯水量 八四万立方メートル

灌漑面積 一、一七四ヘクタール

工期 平成八年着工 平成一二年完成

事業目的 当事業地区への水田及び畑地帯への用水は、昭和四二年に完成した前事業により、仁



写真 佐古ダム

メートルは、従来どおり下林・上村地区が使用。新規に増加した八四〇立方メートルを非灌漑期（一〇月～六月五日）に松前町・伊予市の二、五九二ヘクタールの内一、〇七〇ヘクタールに配水し、上林・下林にも配水している。

表1 道前道後平野農業水利事業水源利用計画

水源利用計画				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
面河ダム	道前平野	水田	水稻 (転換畑を含む)							面河ダム	6/6～10/6				
	道後平野	畑	樹園地							面河ダム	6/6～10/6				
佐古ダム	道後平野	水田	裏作及び 転換畑	佐古ダム	1/1～6/5								佐古ダム	10/7～12/31	
志河川ダム	道前平野	水田	裏作及び 転換畑	志河川ダム	1/1～6/5								志河川ダム	10/7～12/31	
	三芳地区	水田	水稻 (転換畑を含む) 裏作及び 転換畑						志河川ダム	6/6～10/6				志河川ダム	10/7～12/31

資料：中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所道前道後支所

佐古谷池

利用状況

淀川に面河ダムを築造し、灌漑期間（六月六日～一〇月六日）までの用水を確保している。しかしながら、その後の社会情勢の変化に伴い農業情勢も大きく変貌し、畑作振興による非灌漑期（一〇月～六月五日）の灌漑用水の確保等、新しい水需要構造への対応のため一級河川重信川水系佐川川にある既存の佐古谷池を撤去し、佐古ダムを築造し、非灌漑期水田裏作六七〇ヘクタール及び輪換畑四七〇ヘクタールの農業用水を確保するものである。

堤長九〇メートル、堤高一五メートル、貯水量三〇万九、〇〇〇立方メートルで県下最大の溜池である。弘化二年（一八四五）、今より一六〇年前に完成しており、下林土地改良区が管理し、約一一〇ヘクタールの農地の灌漑用水源である。

佐古谷池の貯水量三〇万九、〇〇〇立方

佐古ダム

位置	東温市下林地先	流域面積	4.1km ²
河川	1級河川 風信川水系佐川川	満水面積	0.1km ²
基礎岩盤	砂岩・頁岩互層	かんがい面積	1,174ha
ダム型式	重力式コンクリートダム	総貯水量	1,110千m ³
堤高	31.0m	有効貯水量	1,020千m ³ (佐古池貯水量309千m ³)
堤頂長	210.0m	利用貯水量	840千m ³
堤体積	63千m ³	利用回数	1.2回
堤頂幅	4.0m	最大取水量	0.222m ³ /S
堤頂標高	EL.147.0m	施設区分	農業用水専用施設、新設
満水位	EL.144.1m	設計洪水量	140m ³ /S

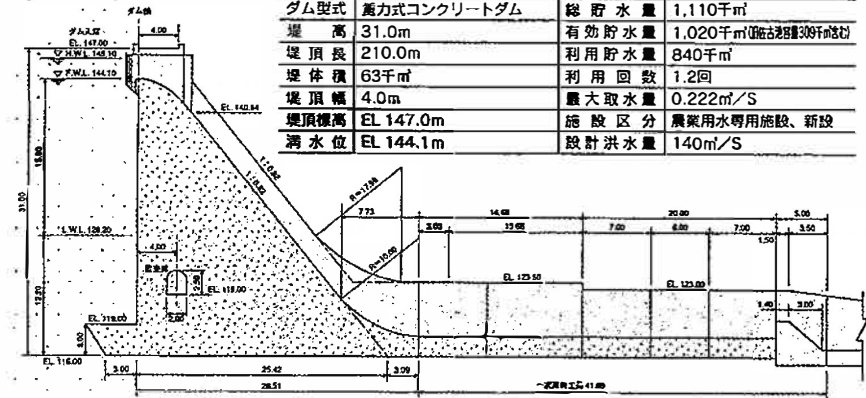


図1 佐古ダム

資料：中国四国農政局 四国土地改良調査管理事務所道前道後支所